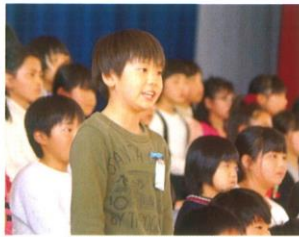


校長室だより
NO. 52
平成31年2月25日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高須 亮平

優しい心をもった高学年を目指す4年生 ～ $\frac{1}{2}$ 成人式より



堂々と決意を表す4年生

2月20日(水)、4年生129人による $\frac{1}{2}$ 成人式が体育館で開催されました。程よい緊張感の中で、4年生一人一人がどのような高学年になるのかをよく考えた上での決意を述べました。保護者の方にも多くお越しいただき、成長した子どもの姿にふれることができたと思います。

この $\frac{1}{2}$ 成人式というのは、成人の20歳の $\frac{1}{2}$ の10歳になった4年生が、これまでの自分自身を振り返り、できるようになったことを自覚し周りに感謝し、また、高学年への決意を新たにす式として位置づけました。

主なねらいは次の通りで、4年生のこの時期に行う価値を大いに感じるものです。

- 4年生は、小学校生活では来年度5年生となり、高学年の仲間入りをすることから、自分のこと、学校全体のこと、下級生の世話など、一層視野を広げた生活が求められます。そのため、その決意を新たに、また、現時点でのこれからの夢や希望をもって生活していけることをねらいとしました。
- これまで10年生きてきた中で、体が大きくなったこと、自分でできるようになったことに加え、心の成長などに気付き、それには多くの方々の助けがあったことを自覚できることもねらいとしました。特に家族の力は大きく、感謝の気持ちを表すとともに、今後の生活に生かすことを期待しました。

式は、4年生がステージ上にひな壇で並び、その姿を保護者の方々にきちんと見られる形で行われました。式の進行は4年生の実行委員が中心になって進められました。

まず、実行委員長の氏家彩貴さんは、「代表あいさつ」として「今日の式がそれぞれの新しいスタートです。4月からは高学年として下級生の皆さんのお手本になり、この梅園小学校を盛り上げていけるようがんばります」と力強く話しました。次には、各学級の4人の代表が「作文発表」をしました。彩貴さんと5人の話は、裏面をご覧ください。そして、式のメインである「 $\frac{1}{2}$ 成人宣言」が一人一人から発表されました。ここには、きちんとした4年生らしい姿が見られ、子どもたちの確かな成長を感じさせるものがありました。次にその宣言の一部を紹介します。

【1組】

- ◇ 計画的に物事を進めて、人に優しくなり、人のために時間を使える高学年になりたいです。(浅井岳斗)
- ◇ 他人に頼ってばかりだったけど、これからは気持ちを強くして、他人を助けていきたいです。(犬飼旺志郎)
- ◇ 友達や母のように、自信がない子を「がんばれ!」と励ませるような高学年になりたいです。(鈴木晴翔)
- ◇ 苦手なことから逃げるのではなく、何にでもチャレンジできる高学年になりたいです。(中西爽稀)
- ◇ 自分には厳しく、人には優しくして、周りの方に信頼される高学年になりたいです。(杉本安萌)
- ◇ 勉強をがんばるだけでなく、普段から誰にでも優しく接することができる高学年になりたいです。(原田愛菜)
- ◇ 弱虫をできるだけなくして、自分に自信が持てるような高学年になりたいです。(元松咲希)

【2 組】

- ◇ 「まあいっか」でやめず、どんなことにも一生懸命努力して取り組める高学年になりたいです。(香村卓秀)
- ◇ 周りや人が気づかないところを見たりして人のよいところを見つけられる高学年になりたいです。(新美伊吹)
- ◇ 父や母のように誰にでも気づかえて、優しく教えてあげられる高学年になりたいです。(宮澤終平)
- ◇ 父のように小さなことでもだれにでも親切にできる高学年になりたいです。(磯谷莉杏)
- ◇ 友達のようにふわふわ言葉をかけて、人に優しくする高学年になりたいです。(井上 和)
- ◇ 弟が生まれてくれたおかげで姉になりました。低学年に優しくなれる高学年になりたいです。(津上友咲)
- ◇ 友達を笑顔にできて、頼りにしてもらえる高学年になりたいです。(森田そら)

【3 組】

- ◇ 父のようにきれいな字を書きたいです。そのために、いつでもいい字に書くようにします。(大倉充敏)
- ◇ 自分で考えて行動し、友達の気持ちにこたえられる高学年になりたいです。(近藤俊磨)
- ◇ 勉強も運動もがんばれる高学年になって、低学年のお手本になりたいです。(山本陸翔)
- ◇ 母のように、困っている人の相談にのれる高学年になりたいです。(沓名祐伽)
- ◇ 母のように、人に尊敬される行動ができる高学年になりたいです。(鈴木真依)
- ◇ 落ち込んでいる子を元気にできる優しい心をもった高学年になりたいです。(土井萌々夏)
- ◇ 父や母のように、優しく、自分の力で行動できる高学年になりたいです。(戸松蓮華)

【4 組】

- ◇ 尊敬する兄のように、人の気持ちを考えて行動することができる高学年になりたいです。(加藤 絆)
- ◇ これからは手をたくさん挙げて、みんなのためになることを大きな声で発言できるようにします。(木原遼己)
- ◇ イライラしないように努力して、今よりもっと周りの方に優しくします。(鈴木徠夢)
- ◇ ダメなことがあったら注意したり、困っている人を助けられたりする人になりたいです。(福井翔瑛)
- ◇ 自分のことは自分でやり、母や家族、周りの方を助けられるようになりたいです。(伊藤未葵)
- ◇ 母や先生が励ましてくれてMAXIになれたから友達に優しく声をかけられる高学年になりたいです。(佐々木七菜)
- ◇ 面倒くさがり屋なところを直して、どんなことでも自分から行動していきたいです。(山本咲海)

今年度の4年生の言葉は、高学年を意識した言葉で、来年度へ希望を持っているものでした。特に、「人に優しく」することが多く語られました。これは、人から優しくしてもらったことをまわりに広げていこうとする心の表れと感じました。また、「〇〇のように」という言葉からも、まわりのよさを認めて自分なりに表現しようとする気持ちが伝わってきました。その後、



心を込めた学年合唱

「どんなときも」の歌を心を込めて学年合唱して式を閉じました。

その後、教室では4年の先生からのサプライズとして、保護者の方に内緒で書いていただいた子どもへの思いが詰まった手紙が配られました。その手紙を一人一人の子どもが読み、思わずうれし涙を流す姿も見られました。親の願いを伝える手紙を通した心のやり取りがなされた瞬間でした。「温かいお手紙をありがとう」「自分のことを心配していることが分かりました」「これからは、ぼくが支えてお手伝いをがんばります」「期待にこたえられるように夢に向かってがんばります」など、自分自身の思いを表す返信の手紙となっていました。これからの4年生の活躍が楽しみになってきました。是非とも家庭、学校で支えていきたいと思えます。

○ 実行委員長のあいさつ

4年4組 氏家 彩貴

今日、この梅園小学校の仲間と2分の1成人式をむかえることができ、とてもうれしく思います。

生まれてからの10年間、わたしたちはたくさんの人にささえられて大きく成長することができました。大切に育ててくれた家族、たくさんのことを教えてくれた先生、いつもあたたかく見守ってくださる地いきのみなさん、楽しい時や悲しい時もいっしょにいてくれる友達。みなさんにかんしゃの気持ちでいっぱいです。

これから大人になるまでの10年が始まります。わくわくする気持ちと不安な気持ちもありますが、いろいろなことにちょうせんし、できなかったことができるようになるようがんばります。これから、くいのない10年間にしていきたいです。

今日の式がそれぞれの新しいスタートです。4月からは、高学年として下級生のみなさんのお手本になり、この梅園小学校をもり上げていけるようがんばります。

○ 学年発表

みんなに優しく自分にきびしく

4年1組 大野 智之

今までの自分は、みんなに助けられっぱなしです。

こんな自分をかえ、成長させてくれたのは、家族や友達のおかげです。母と父は、いつも優しく、ときにはきびしく、大切に育ててくれています。兄弟は、いつも優しく接してくれています。友達は、いつもたくさん遊んでくれたり、困っているときに助けてくれたりしました。家族や友達は、暖かく広い心でぼくを見守ってくれています。そして、そのおかげで今の自分があると思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

ぼくは、家族や友達のように、みんなに優しく自分にきびしく、だれかが困っていたら、助けられるような思いやりのある高学年になりたいです。

笑顔で熱盛な高学年に

4年2組 太田 結香

わたしは、いつでも笑顔で熱盛な高学年になりたいです。

そう思えたのは、ネガティブだった自分を成長させてくれた人が周りにいたからです。4の2のみんなは、いつも笑顔で熱盛なわたしにとってお手本のようです。そんなキラキラ光っている4の2のみんながわたしを副リーダーとしてみとめてくれたおかげで、みんなをまとめる力がつきました。みんなのおかげで熱盛で物事に取り組めたので、感謝しています。

わたしも4の2のみんなみたいに笑顔で熱盛な高学年になりたいです。

みんなを元気にできる高学年に

4年3組 土井 萌々夏

わたしは、周りの人を元気づけられる高学年になりたいです。そう思ったきっかけは、バレー部こもんの本田先生です。

本田先生は落ち込んでいる子を見つけると、すぐに声をかけて元気づけてくれます。わたしがバレーの練習で上手にできなくて落ち込んでいた時も、近くに来てアドバイスをしてくれたり、励ましてくれたりしました。とてもうれしかったです。

私も、本田先生がしてくださったように、みんなを元気づけられる人になりたいと思いました。そのためにも、やさしい気持ちを忘れないで生活したいです。

尊敬する兄のように

4年4組 加藤 絆

ぼくは兄が大好きです。兄は加藤晴陽です。兄は水泳がとっても速いです。水泳部の中でも一番速かったです。夏の大会では、4年生から選手になって、何度も優勝していました。学校でも、先生や友達に信頼されていました。

今のぼくは、水泳が大好きで、練習をがんばることができます。水泳が大好きになれたのは兄のおかげです。まだ泳ぐのがおそいときに、速く泳ぐためのコツを教えてくださいました。また、家でよく弟とけんかしてしまいます。でも兄は、ぼくにも弟にもやさしく、ぼくたちがいやがることは言いません。中学生になった今では、勉強もがんばって、メリハリのついた生活ができています。ぼくは兄に少しでも近づきたいです。

これからは、尊敬する兄のように、人の気持ちを考えて、行動することができる高学年になりたいです。

◎ 実行委員



- [1組] 成瀬 天翔、壽木 杏花 [2組] 億田 翔、浅野奈々佳
[3組] 杉浦 琉瑛、杵名 祐伽 [4組] 香村 咲弥、氏家 彩貴